

## 令和6年度 交流研究員受入れ可能課題例

研究開発課題名（予定）	受入れ担当 研究グループ
宅地の液状化対策技術に関する研究	構造研究グループ
建築物の耐震レジリエンス性能指向型設計・評価手法に関する研究	
脱炭素社会における室内環境性能確保と省エネを両立させた設計手法に関する研究	環境研究グループ
多様な在館者と建築物の大規模化に対応した避難安全設計技術の標準化に向けた技術開発	防火研究グループ
中高層木造建築物の社会実装の促進に資する研究開発	材料研究グループ
CO2排出量の削減に寄与するコンクリートに関する研究	
建築物の安全・維持管理に資するドローンを活用した建築保全技術の開発	
木造住宅の水害低減に資する性能評価技術の開発	
建築確認検査におけるデジタル技術の適用拡大に向けた検討	建築生産研究 グループ
人の移動を加味したマイクロシミュレーションによる 将来都市構造予測・評価技術の開発	住宅・都市研究 グループ

※) 上記の研究開発課題以外でも受入が可能な場合もありますので、詳しくはお問い合わせ下さい。  
 なお、研究開発課題は所内都合により変更となる場合がありますので、予めご了承下さい。